

**製品名: アクチニン  $\alpha$ 1/2/3/4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06547**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACTN1/2/3/4
別名	ACTN1; Alpha-actinin-1; Alpha-actinin cytoskeletal isoform; F-actin cross-linking protein; Non-muscle alpha-actinin-1; ACTN2; Alpha-actinin-2; Alpha-actinin skeletal muscle isoform 2; F-actin cross-linking protein; ACTN3; Alpha-actinin-3; A
遺伝子 ID	87/88/89/81
SwissProt ID	P12814/P35609/Q08043/O43707
免疫原	抗血清はヒト ACTN1/2/3/4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

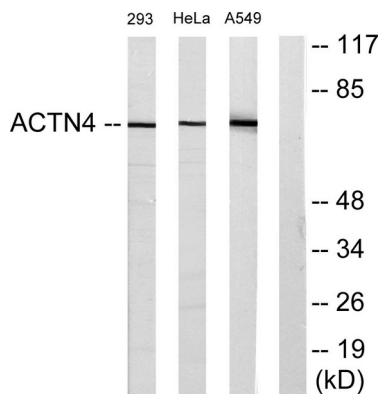
**背景**

αアクチニンは、αおよびβスペクトリンやジストロフィンなど、多様な細胞骨格タンパク質からなるスペクトリン遺伝子スーパーファミリーに属します。αアクチニンは、異なる細胞型で多様な役割を果たすアクチン結合タンパク質です。非筋細胞では、細胞骨格アイソフォームはマイクロフィラメント束や接着型結合部に沿って存在し、アクチンを膜に結合させる役割を果たします。一方、骨格筋、心筋、平滑筋のアイソフォームはZ板や類似の緻密部に局在し、筋原線維アクチンフィラメントを固定する役割を果たします。この遺伝子は、非筋細胞骨格のαアクチニンアイソフォームをコードし、構造的に類似した赤血球βスペクトリン遺伝子と同じ部位にマッピングされます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq提供、2008年7月]、機能: F-アクチン架橋タンパク質。アクチンを様々な細胞内構造に固定すると考えられている。これは束状タンパク質である。、類似性: α-アクチニンファミリーに属する。、類似性: アクチン結合ドメインを1つ含む。、類似性: CH (カルポニン相同) ドメインを2つ含む。、類似性: EFハンドドメインを2つ含む。、類似性: スペクトリンリピートを4つ含む。、細胞内局在: 心臓および骨格筋のZ線において、MYO22 および PPP3CA と共局在する。、サブユニット: ホモ二量体; 逆平行。DDN、MYO22、PDLIM2、TTID、LPPと相互作用する。、

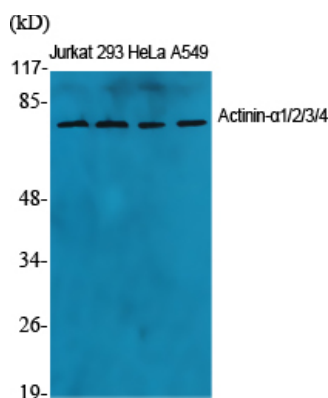
## 研究分野

接着斑;接着結合;接着結合;白血球の内皮透過移動;アクチンと細胞骨格の調節;全身性エリテマトーデス;不整脈性右室心筋症 (ARVC);

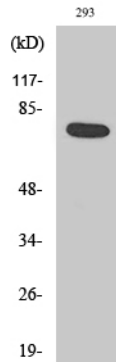
## 画像データ



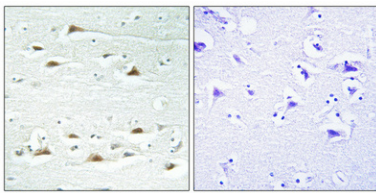
ACTN1/2/3/4抗体を用いた293細胞、HeLa細胞、A549細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000希釈のアクチニンα1/2/3/4ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 希釈のアクチニン  $\alpha$ 1/2/3/4 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。